

令和7年度 学校評価を生かした主な改善点について

伊予市立下灘小学校

【「しっかりと考える子」をはぐくむために】

- 学習ルールが定着し、落ち着いた態度で学習に取り組んでいます。自分の学習態度を振り返り、意欲的に学習に取り組もうとする態度が育ってきました。
- 繰り返し学習や発表・振り返りの機会を増やしたことで、学力の定着につながり、児童が自信を持って学習に取り組めるようになりました。今後も、自分の考えを主体的に表現する機会を充実させるとともにし、ICT（ロイロノートやEILS、ライブラリなど）を有効的に活用して、個に応じた学びとともに、協働的な学びを充実させ、さらなる学力の向上につなげていきます。また、一人一人の学習状況を分析し、「分かる授業」を推進していきます。
- 図書委員会が「読書ビンゴ」「読書パズル」をしたり、おすすめ本の紹介「ビブリオバトル」をしたりするなどして、様々な本に親しむ機会を増やしてきました。今後も、児童に読書の楽しさを伝えることで、進んで読書に親しむ態度を育てていきます。

【「もくもくとがんばる子」をはぐくむために】

- 朝食を取って登校するなど望ましい生活習慣が身に付いている家庭が多いです。一方で、習い事やゲーム・スマホ等で寝る時間が遅くなっている児童もいます。今後も、規則正しい生活が送れるように「衛生強調週間」を設定し、生活習慣についてアドバイスを継続していきます。
- ITスタジアムや外遊び（サッカーや縄跳びなど）に積極的に取り組み、学年に応じた体力が身に付いてきました。また、地域の方の登下校時の見守りや避難訓練等で、交通事故や自然災害から、自分で命を守るという意識が定着してきました。
- 下灘太鼓の練習にOBや漁業後継者の会の方に参加していただき、先輩からの伝統を引き継ぐということを意識して取り組んでいます。下灘太鼓を通して、地域の方と触れ合い、地域を大切にしようとする思いを育てるとともに、地域の一員であるという自覚を高めていけるようにしていきます。

【「なかよく明るい子」をはぐくむために】

- 地域の方や他校との交流を継続することで、互いの良さを認め合い、支え合う仲間づくり

ができてきています。また、相手への思いやりとやさしさのある言動を心掛ける心情も育ってきています。学習リーダーも少しずつ育ち、自分たちで自律して行動しようとする態度も見られました。今後も、この態度が育っていくように、学年に応じた支援を続けていきます。

- 道徳科では、2学年で学習することで、多様な考えに触れ、自他の思いを大切にする児童が育ってきました。内容によって1学年で実施したり、3学年以上の合同で実施したりするなど、多様な授業形態を取り入れることで、新たな人間関係を生み、思いやりややさしさのある言動も見られるようになりました。
- 地域の方や来校者に進んで気持ちの良い挨拶をする児童が増えました。今後も、進んで気持ちの良い挨拶ができる児童を育て、時と場に応じた挨拶を意識できるように指導を続けていきます。

【「だんだんのびる子」をはぐくむために】

- 学校行事や授業、集会等での地域の方との触れ合いの場を充実させていく中で、地域の一人として役に立ちたいという感情が育ちつつあります。
- 言葉遣いについては、相手の気持ちに寄り添った、優しい言葉遣いができるよう指導を継続してきました。時と場に応じた適切な言葉遣いができるようになってきました。今後も、日常的な言葉遣いについて継続的に指導をしていきます。
- 小規模校の特質を生かし、児童一人一人に対応した個別相談の時間を確保し、個に応じた指導や支援を行い、自己有用感を育てる指導を続けていきます。

【管理・運営の徹底を図るために】

- 防災について、昨年度の反省を基に、計画を見直し、実際に災害が発生したときに起こりうる混乱を想定した避難訓練を実施しました。今年度は市の危機管理課と合同避難訓練を行いました。今後も児童・教職員の安全を第一に考え、市・地域との連携、保護者への対応等、より良い防災に取り組んでいきます。
- 教職員のワーク・エンゲージメントの向上が見られます。今後も、管理職や同僚との「信頼関係」や、やりがいや働きやすさなどの「働きがい」のマネジメントに努めていきます。
- 報告・連絡・相談はもちろん、最後の「確認（見取り）」まで徹底するようにしました。今後も、職員朝礼や職員会議の場を活用して、情報の共有化を図り、報告・連絡・相談、そして確認まで遺漏なく行えるように努めていきます。